環境軸推進計画書（概要版）

～環2・晴海通り地区～

1　環境軸推進計画書の目的

都、関係区、民間事業者などが、都市施設の整備、まちづくりなどに関する計画の策定や事業の実施を行う場合に、「環境軸の形成に向けての配慮事項」を踏まえた対応を求めることを目的として策定。

2　環境軸の形成の目標

コンセプト

- 海からの風を都心に呼び込むエリアの創造
- オリンピックの中心地にふさわしい先進都市づくり
- 「海」と「みどり」と「賑わい」のハーモニー

目　標

今後新たに約 100ha のみどりを創出

・日比谷公園約６個分、現在の約２倍に増加
・オリンピック開催年（2016 年）に約９割達成

3　みどりの現況

臨海部から皇居周辺にかけて、大規模な拠点のみどり、公園や再開発によるみどりが各所に整備されている。

4　環境軸の形成に資する計画・事業（別図ー１）

- 環２　　：まちづくりと一体となったみどり豊かな道路を整備中（平成 27 年度までを目途に完成予定）
- 晴海通り　：季節感あふれる街路樹を整備中（平成２２年度までに完成予定）
（放 34、放 34 支1）
- まちづくり：水辺のみどりや公園の整備、土地利用転換や新規開発、オリンピック関連施設の整備などにより新たなみどりが創出される

5　環境軸の形成に向けての配慮事項（別図ー２）

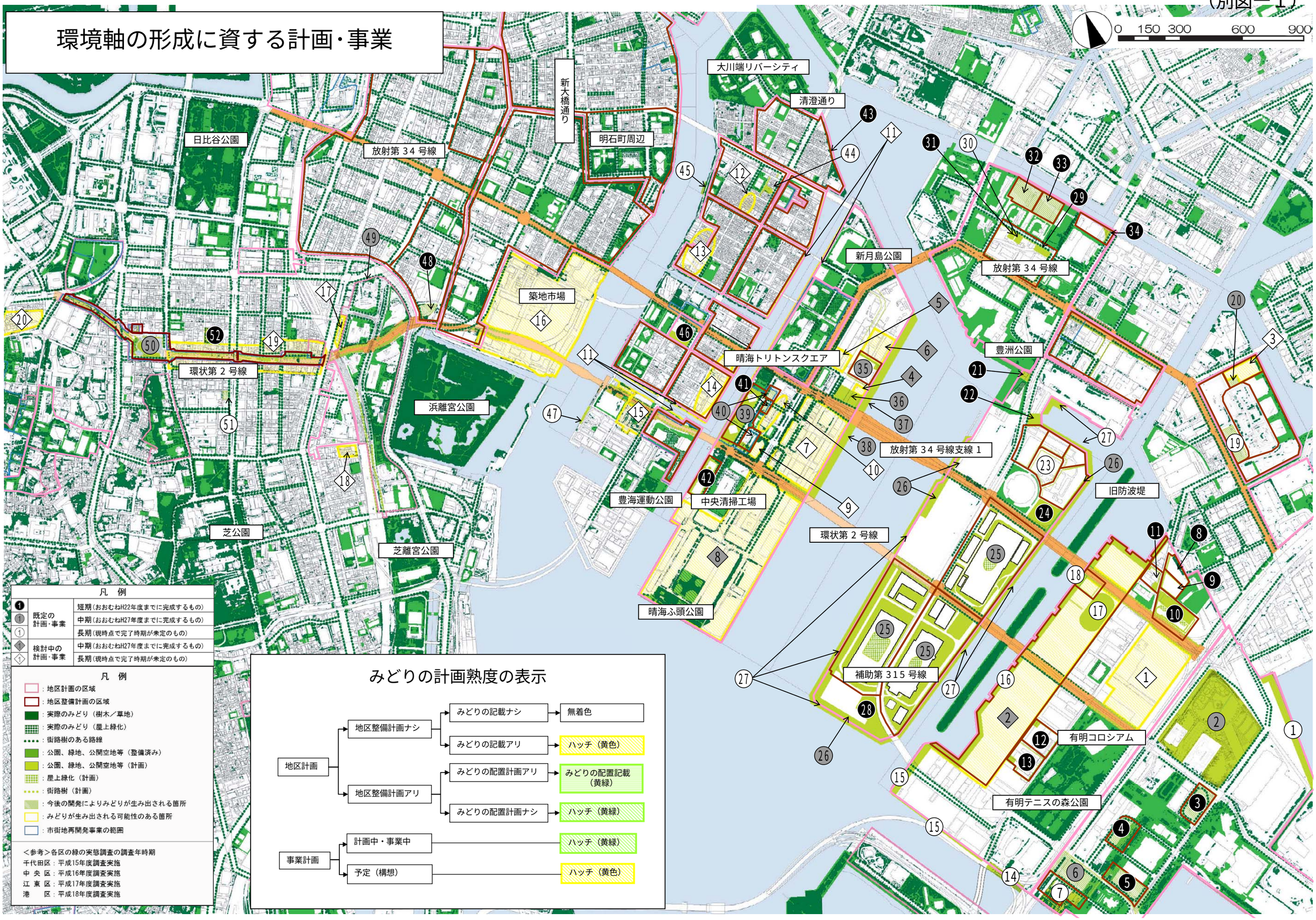
- 環境軸形成の考え方
  - 「環２・晴海通り」を中心軸に厚みのあるみどりを形成
  - 「広がり」「つながり」「都市景観」を重視した品格あるみどりを充実
  - オリンピック招致に向け、環境先進都市のモデルとして、世界が注目する風格あるみどり豊かな都市を創造
  - 「都市のにぎわい」「都心の暮らし」「水辺の憩い」を融合させる良質なみどりを構築
- 配慮事項
  - みどり豊かな広幅員の歩道を整備
  - 公園、オリンピック関連施設、豊洲新市場の整備など、公共施設において豊かなみどりの創出に寄与するよう緑化を推進
  - 道路と沿道開発が一体となった「幅のあるみどり」を可能な限り連続して創出
  - 「水辺沿いのみどり」と「拠点のみどり」を創出し、つなげる
  - 大規模開発や土地利用転換を契機にみどりの「広がり」と「つながり」を新たに創出
  - 既成の業務・商業地では、「品格ある並木」により「つながり」を求める
  - 既成の住宅地では、まちづくりルールにより「身近なみどり」を創出
  - 臨海部においては、防耐風機能に優れた樹種や耐塩性、耐潮性ある樹種を選定

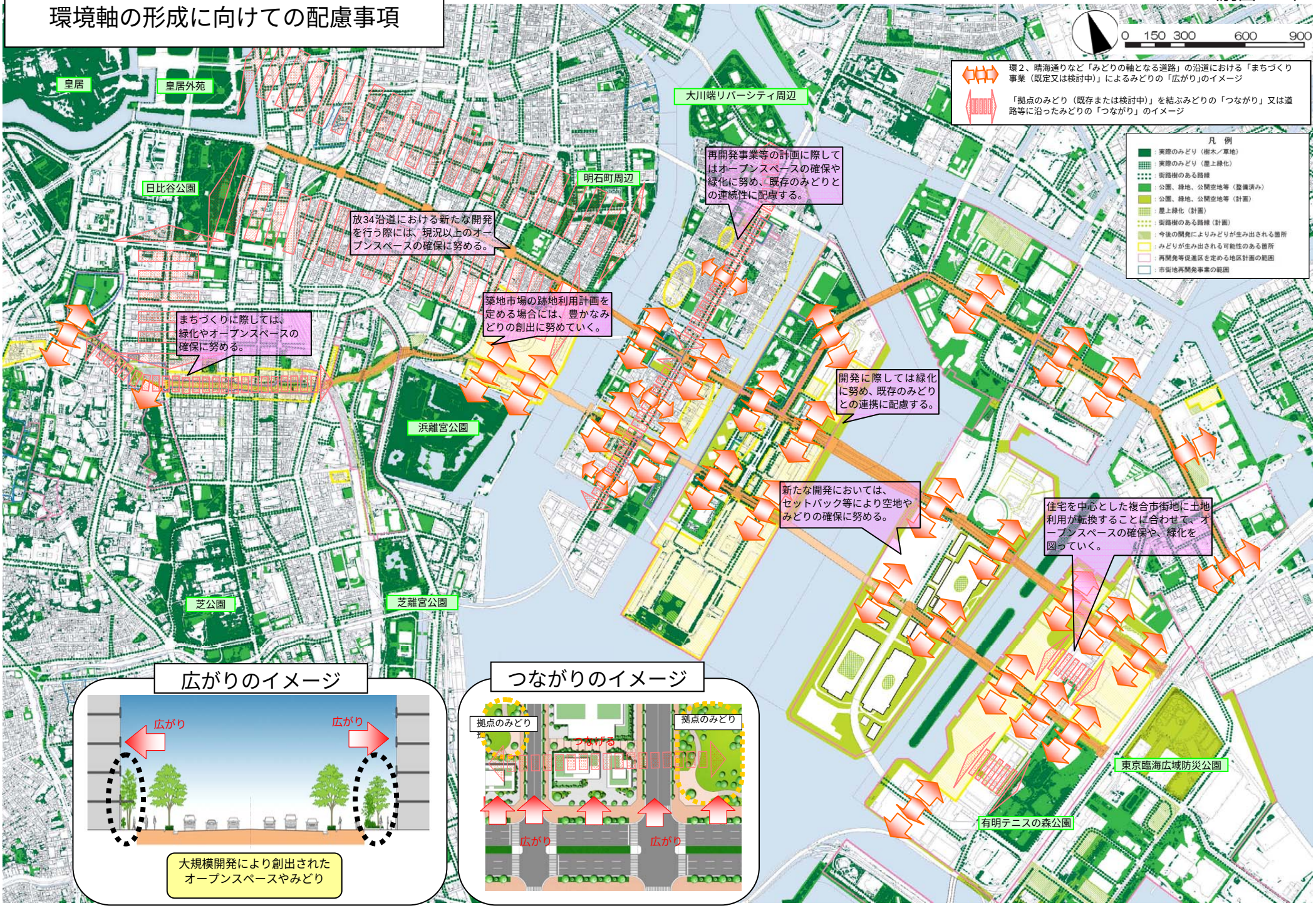
6　環境軸の推進体制

- 推進組織
「地区別検討部会」により、環境軸の推進、関係者間の情報・認識の共有化を図る。
- 関係者の責務
計画策定や事業化を行う場合には、その実施主体及び関係行政機関は「環境軸形成に向けての配慮事項」をできる限り尊重するよう努める。
- 環境軸の形成に向けた取組
  - まちづくり計画の策定時に本計画書の内容に配慮
  - 都市開発諸制度を活用したまちづくりにおける緑化誘導
  - 「公開空地等のみどりづくり指針」による誘導
  - 民間による自主的な緑化への働きかけ
  - みどりの維持管理等の方策の検討

（別図－１）

環境軸の形成に資する計画・事業



（別図―２）

環境軸の形成に向けての配慮事項